

愛知県感染症情報

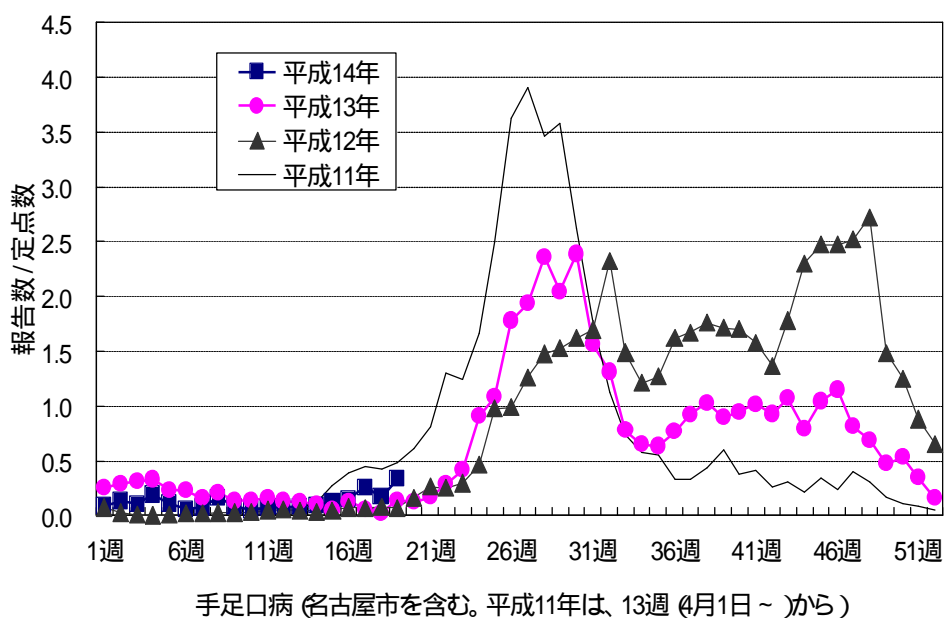
平成 14 年第 19 週 (5 月第 2 週)

< コメント >

水痘、手足口病、ヘルパンギーナの報告が目立ってきました。

麻疹は引き続き流行中ですので注意してください。

麻疹の予防方法については、愛知県衛生研究所のホームページ
(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>) をご覧ください。



< 定点の先生方からのコメント >

● 尾張西部地区

- ・ サルモネラ 5 歳男 1 名

0159 4 歳男 1 名、08 3 歳男 2 名、018 1 歳女 1 名

手足口病、ヘルパンギーナなどエンテロウイルス属類の感染症が増加傾向にあります。

(尾西市 城後小児科)

- ・ 麻疹 2 人は兄弟でいづれも予防接種は未接種でした。

(一宮市 田中内科小児科医院)

- ・ 病原大腸菌 01 10 カ月女、018 8 カ月男

カンピロバクター 5 歳男、16 歳男

(犬山市 武内医院)

- ・ 手足口病、ヘルパンギーナ各 1 名ありました。
4 歳女 带状疱疹 (8 ヶ月に水痘の既往あり) 。

(江南市 みやぐちこどもクリニック)

- ・ 麻疹が相変わらず続いています。ムンプス、溶連菌も続発中。

(岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック)

- ・ 5 才男 川崎病 (疑) で入院しました。

(春日町 丹羽医院)

- ・ 6 才女 マイコプラズマ

(師勝町 医療法人師勝クリニック)

- ・ 34 才女 A 型インフルエンザ

(師勝町 田中クリニック)

● 尾張東部地区

- ・ ロタウイルスを含めたウイルス性胃腸炎がまた少し増加。
細菌性ではカンピロバクター腸炎 5 歳男
手足口病は増えています。
麻疹ワクチン接種者で 19 歳女の麻疹がありました。

(瀬戸市 津田こどもクリニック)

- ・ 麻疹流行あり (今週 3 例 いずれもワクチン未接種児) 。
- 水痘、溶連菌感染症増加傾向有り。
- その他アデノ感染症と思われる症例も数例ありました。

(尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院)

- ・ 5 / 7 発症、51 歳女、サルモネラ O9 感染症 1 例
既に食中毒として調査中です。

(豊明市 豊明団地診療所)

- ・ 2 歳女の麻疹 (ワクチン未接種、保育園にも通院していない児で
す) がありました。
重症水痘の女 1 名ありました。

(春日井市 かちがわ北病院)

- ・ あいかわらずハシカ続いています。

(春日井市 朝宮こどもクリニック)

- ・ 特にありません。

(小牧市 志水こどもクリニック)

- ・ 麻疹増えている。水痘、手足口病も増加。

(小牧市 小牧市民病院)

- ・ 水痘が増えてきました。

(東海市 小児科ハヤカワ医院)

● 西三河地区

- ・ マイコプラズマ肺炎（2歳男）
病原性大腸菌（O114）、カンピロバクター（1歳男）
（豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック）
- ・ まだ水痘、ムンプス多し。マイコプラズマ肺炎流行。
（豊田市 医療法人やふそ小児科）
- ・ 百日咳の30代女 ワクチンあり 感染経路不明。
（豊田市 わかその東洋クリニック）
- ・ 6歳女 カンピロバクター
麻疹2例あり、うち1例はワクチン未接種。
ウイルス性と思われる下痢症多し。
（岡崎市 花田こどもクリニック）
- ・ 13歳男 カンピロバクター
（岡崎市 にいのみ小児科）
- ・ 4歳男 マイコプラズマ肺炎
（岡崎市 医療法人川島小児科水野医院）
- ・ 7歳男 カンピロバクター、8歳女 サルモネラ菌O7
5歳女 麻疹（ワクチン未接種）
（幸田町 とみた小児科）
- ・ 手足口病が少しでてきました。
（刈谷市 まついこどもクリニック）
- ・ 水痘が増加
（碧南市 永井小児クリニック）
- ・ サルモネラ腸炎 O9 81歳男、75歳女（夫婦）
（西尾市 山岸クリニック）

● 東三河地区

今回はコメントはありません。

< 1～3類感染症の発生状況 >

報告はありません。

< 全数把握の4類感染症の発生状況 >

報告はありません。

定点把握の対象となる 4 類感染症の全国状況

第 16 週 (14 年 4 月 15 日 ~ 4 月 21 日)

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑、流行性角結膜炎の定点当たり報告数は、過去 5 年間の同時期と比べてやや多くなっている。都道府県別では、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎が山形県 (定点当たり報告数 2.7)、長野県 (2.4)、北海道 (2.3)、福井県 (2.3) など、伝染性紅斑が青森県 (2.2)、秋田県 (1.9)、栃木県 (1.7) など、流行性角結膜炎が愛媛県 (4.1)、宮崎県 (3.0)、群馬県 (2.6) などが多くなっている。

第 17 週 (14 年 4 月 22 日 ~ 4 月 28 日)

インフルエンザの定点当たり報告数は東北と九州を中心に、地域により前週よりも増加しているところが見られたため、全体として若干の増加が見られる。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘と流行性角結膜炎の定点当たり報告数は、過去 5 年間の同時期と比べてやや多くなっている。咽頭結膜熱は第 15 週より定点当たり報告数の立ち上がりを見せており、手足口病とともに、地域により警報が散見されることもある。今後夏に向かって流行するヘルパンギーナとともに、今後の動向に注意が必要である。

(Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)

詳細は感染症情報センター - のホームページ

(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>) の感染症発生動向調査週報をご覧ください。

